

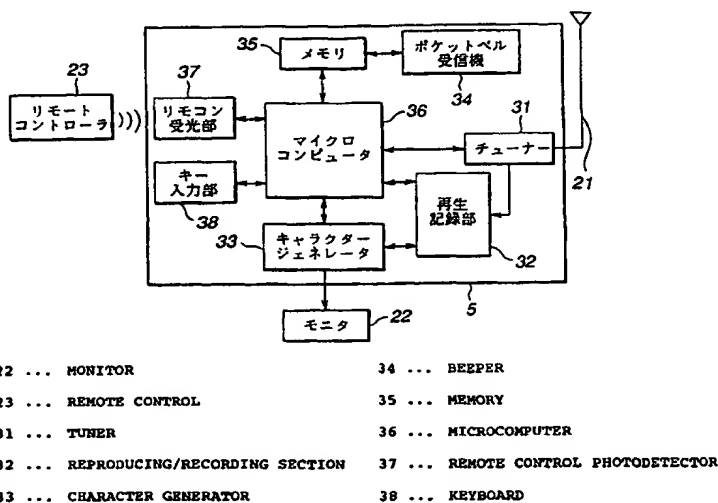
M.H



PCT

特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(51) 国際特許分類6 H04N 5/44, 5/445, H04B 7/26, H04H 1/00	A1	(11) 国際公開番号 WO00/08845 (43) 国際公開日 2000年2月17日(17.02.00)
(21) 国際出願番号 PCT/JP99/04220 (22) 国際出願日 1999年8月4日(04.08.99) (30) 優先権データ 特願平10/220025 1998年8月4日(04.08.98) JP (71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) ソニー株式会社(SONY CORPORATION)[JP/JP] 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 Tokyo, (JP) (72) 発明者; および (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ) 村上雄治(MURAKAMI, Yuji)[JP/JP] 〒141-0001 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内 Tokyo, (JP) (74) 代理人 小池 晃, 外(KOIKE, Akira et al.) 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目6番4号 第11森ビル Tokyo, (JP)		(81) 指定国 CN, KR, US 添付公開書類 国際調査報告書

(54) Title: INFORMATION PROCESSOR**(54) 発明の名称** 情報処理装置**(57) Abstract**

An information processor comprises a beeper having a unique call number and adapted to receive data when other information processors dial the unique number, a memory for storing the data received by the beeper, and a character generator for controlling the display of the image formed of the data stored in the memory. When another information processor dials the unique call number, data is received, and an image based on the data is displayed.

(57)要約

情報処理装置は、固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信するポケットベル受信機と、このポケットベル受信機により受信されたデータを記憶するメモリと、このメモリにより記憶されたデータにより作成される画像の表示を制御するキャラクタージェネレータとを備える。固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データが受信され、受信されたデータにより作成される画像の表示が制御される。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

AE アラブ首長国連邦	DM ドミニカ	KZ カザフスタン	RU ロシア
AL アルバニア	EE エストニア	LC セントルシア	SD スーダン
AM アルメニア	ES スペイン	LI リヒテンシュタイン	SE スウェーデン
AT オーストリア	FI フィンランド	LK スリ・ランカ	SG シンガポール
AU オーストラリア	FR フランス	LR リベリア	SI スロヴェニア
AZ アゼルバイジャン	GB 英国	LS レント	SK スロヴァキア
BA ボスニア・ヘルツェゴビナ	GAB ガボン	LT リトアニア	SL シエラ・レオネ
BB バルバドス	GD グレナダ	LU ルクセンブルグ	SN セネガル
BE ベルギー	GE グルジア	LV ラトヴィア	SZ スワジランド
BF ブルキナ・ファソ	GH ガーナ	MA モロッコ	TD チャード
BG ブルガリア	GM ガンビア	MC モナコ	TG トーゴ
BJ ベナン	GN ギニア	MD モルドヴァ	TJ タジキスタン
BR ブラジル	GW ギニア・ビサウ	MG マダガスカル	TZ タンザニア
BY ベラルーシ	GR ギリシャ	MK マケドニア旧ユーゴスラヴィア	TM トルクメニスタン
CA カナダ	HR クロアチア	共和国	TR トルコ
CF 中央アフリカ	HU ハンガリー	マリ	TT トリニダード・トバゴ
CG コンゴ	ID インドネシア	ML モンゴル	UA ウクライナ
CH スイス	IE アイルランド	MN モンゴリア	UG ウガンダ
CI コートジボアール	IL イスラエル	MR マラウイ	US 米国
CM カメルーン	IN インド	MW メキシコ	UZ ウズベキスタン
CN 中国	IS アイスランド	NE ニジェール	VN ヴェトナム
CR コスタ・リカ	IT イタリア	NL オランダ	YU ユーゴスラビア
CU キューバ	JP 日本	NO ノールウェー	ZA 南アフリカ共和国
CY キプロス	KE ケニア	NZ ニュージーランド	ZW ジンバブエ
CZ チェコ	KG キルギスタン	PL ポーランド	
DE ドイツ	KP 北朝鮮	PT ポルトガル	
DK デンマーク	KR 韓国	RO ルーマニア	

明細書

情報処理装置

技術分野

本発明は、電子番組ガイド（E P G : Electric Program Guide）情報を、ポケットベル受信機により受信し、処理する情報処理装置及びその処理方法に関する。

背景技術

衛星を使ってデジタルテレビジョン放送が行われている。この放送は、デジタル信号を用いて行われるため、100チャンネルといった多数のチャンネル数を確保することができる。そこで、送信される多くのチャンネルの中から所望のチャンネルを選択することができるように、電子番組ガイド情報を番組情報とともに伝送することが提案されている。ユーザは、この電子番組ガイドをディスプレイ上に表示させ、その表示を見ながら所望の番組を選択することができる。

上述した電子番組ガイド情報を各家庭に備え付けられた受信機に対して送信する場合、送信側の装置としては大がかりなものが必要となる。また、インターネットなどのネットワークを用いて電子番組ガイド情報を送信する場合、送信側は、複数の受信機に一時に送信するためには、複数の電話回線を備える必要がある。

発明の開示

本発明は、このような状況に鑑みてなされたものであり、電子番組ガイド情報を、ポケットベル受信機により受信し、処理することより、簡便に電子番組ガイド情報を送受信できるようにするものである。

本発明に係る情報処理装置は、固有の呼び出し番号が他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信する受信機と、この受信機により受信されたデータを記憶するメモリと、このメモリにより記憶されたデータにより作成される画像の表示を制御する表示制御部とを備える。

ここで、受信機として、例えばポケットベル受信機が用いられ、表示制御部としては、例えばキャラクタージェネレータが用いられる。

また、本発明に係る情報処理装置は、固有の呼び出し番号をもつ他の情報処理装置を、呼び出し番号をダイヤルすることにより呼び出すパーソナルコンピュータの如き呼び出し手段と、この呼び出し手段により呼び出した他の情報処理装置にデータを送信するモデムの如き送信機送信手段とを備える。

本発明に係る情報処理装置は、固有の呼び出し番号が他の情報処理装置によりダイヤルされて呼び出されたときにデータが受信され、受信されたデータにより作成される画像の表示が制御される。

本発明のさらに他の目的、本発明によって得られる具体的な利点は、以下に説明される実施例の説明から一層明らかにされるであろう。

図面の簡単な説明

図 1 は、本発明に係る情報処理装置が適用された情報処理システムをブロック図である。

図 2 は、本発明を構成する受信機の内部構造を示すブロック図である。

図 3 は、E P G データのデータ構造を説明する図である。

図 4 は、モニタに表示される画像の表示例を示す図である。

発明を実施するための最良の形態

本発明に係る情報処理装置が用いられる情報処理システムは、図 1 に示すように、電子番組ガイド（E P G : Electric Program Guide）データを作成するパーソナルコンピュータ 10 と、このパーソナルコンピュータ 10 が作成した E P G データを送信するためのモデム 11 を備えるデータ配信元 1 と、このデータ配信元 1 から電話回線 2 を介して伝送される E P G データを中継する中継局 3 を備える。中継局 3 は、配信元 1 から伝送された E P G データをアンテナ 4 を介して各家庭に備え付けられた受信機 5 - 1 乃至 5 - 5（以下、個々に受信機 5 - 1 乃至 5 - 5 を区別する必要のない場合は、単に受信機 5 と記述する）に伝送する。

受信機 5 - 1 乃至 5 - 5 は、それぞれ固有の呼び出し番号をもつポケットベル受信機を内蔵している。固有の呼び出し番号として、受信機 5 - 1, 5 - 2, 5 - 4, 5 - 5 が同一の呼び出し番号を所

有し、データ配信元 1 が、その呼び出し番号をダイヤルした場合、データ配信元 1 から配信された E P G データは、受信機 5 - 1, 5 - 2, 5 - 4, 5 - 5 の全ての受信機に受信される。従って、データ配信元 1 は、複数の電話回線 2 を所有しなくても、1 度に複数の受信機 5 に対して、同一の E P G データを送信することができる。

また、データ配信元 1 は、呼び出し番号により、E P G データを受信する受信機 5 を選択することができるので、個々の受信機 5 に対して異なる E P G データを配信することが可能となる。

配信元 1 から伝送された伝送された E P G データを受信する受信機 5 は、ビデオテープレコーダの機能を備えて。受信機 5 は、伝送されてきた番組プログラムをアンテナ 2 1 を介して受信し、そのデータをチューナ 3 1 に伝送する。ユーザは、リモートコントローラ 2 3 により、所望の番組を選択する。その選択結果は、例えば赤外線などを用いて受信機 5 のリモートコントローラ受光部 3 7 に向かって出射される。この受光部 3 7 に入射された選択結果は、マイクロコンピュータ 3 6 を介してチューナ 3 1 に出力される。チューナ 3 1 は、入力された選択結果に基づいて番組プログラムを選択し、再生記録部 3 2 に選択した番組プログラムを出力する。再生記録部 3 2 は、入力された番組プログラムを再生し、キャラクタージェネレータ 3 3 を介しモニタ 2 2 に出力する。また、再生記録部 3 2 は、内部にセットされ図示しないビデオカセットテープに、ユーザの指令により、番組プログラムを記録する。

受信機 5 は、複数の操作キーからなるキー入力部 3 8 を備えている。このキー入力部 3 8 は、リモートコントローラ 2 3 で行われる操作と同様の操作ができるように構成されている。

受信機 5 に内蔵するポケットベル受信機 3 4 は、中継局 3 を介して伝送された E P G データを受信する。この受信された E P G データは、受信機 5 に設けたメモリ 3 5 に記憶される。このメモリ 3 5 に記憶された E P G データは、ユーザがリモートコントローラ 2 3 より E P G の表示を指示した場合、マイクロコンピュータ 3 6 の制御によってメモリ 3 5 から読み出されてキャラクタージェネレータ 3 3 に出力される。キャラクタージェネレータ 3 3 は、入力された E P G データを基に E P G を作成してモニタ 2 2 に出力する。

ここで、データ配信元 1 から配信される E P G データのデータ構造について、図 3 を用いて説明する。この E P G データは、2 バイトの番組開始年、1 バイトの番組開始月、1 バイトの番組開始日、2 バイトの番組開始時刻、2 バイトの番組終了時刻、4 0 バイトの番組名、1 バイトの番組チャンネル (C H)、1 バイトの番組ジャンル及び 1 バイトのレイティングからなる、計 5 1 バイトのデータにより構成されている。番組名は、4 0 バイトで 2 0 文字まで送信できる。従って、文字数の増減によって、そのバイト数も変化し、最大 8 9 バイトまで用れは、現在、ポケットベル受信機 3 4 に 1 回で送信できるバイト数が 1 0 0 バイトに設定されていることに基づいている。

このような E P G データを送受信する場合の、図 1 及び図 2 で示した各装置の動作について説明する。

E P G データの配信者は、データ配信元 1 のパーソナルコンピュータ P C 1 0 を用いて、図 3 に示した各情報を入力していく。パーソナルコンピュータ 1 0 は、入力された情報に基づいて、図 3 に示すデータ構造の E P G データを作成する。この E P G データは、1

番組毎に作成される。さらに配信者は、パーソナルコンピュータ 10 に、作成した E P G データを配信させたい受信機 5 のもつ呼び出し番号をダイヤルさせる。そして、作成された E P G データは、モデム 11 により、電話回線 2 にあったデータに変換され、中継局 3 に伝送される。

中継局 3 に伝送された E P G データは、指定された受信機 5 に、アンテナ 4 を介して送信される。送信された E P G データは、受信機 5 のポケットベル受信機 34 に受信される。受信された E P G データは、メモリ 35 に記憶される。このようにして、1 番組毎に送信された E P G データが、メモリ 35 に順次記憶されていくことにより、複数の番組の E P G データが記憶されていく。

ユーザは、E P G をモニタ 22 上に表示させたいとき、リモートコントローラ 23 の所定のキーまたはキー入力部 38 に備え付けられた所定のキーを操作する。リモートコントローラ 23、又はキー入力部 38 から操作に応じた信号がマイクロコンピュータ 36 に入力された場合、その信号に応じた処理が行われる。その信号が、E P G の表示の指示を示している場合、マイクロコンピュータ 36 は、メモリ 35 に記憶されている E P G データを読み出し、キャラクタージェネレータ 33 に出力する。

キャラクタージェネレータ 33 は、入力された E P G データを基に、E P G を作成する。作成された E P G は、モニタ 22 に出力され、表示される。図 4 は、モニタ 22 上に表示された E P G の表示例を示している。画面上方には、放送年月日が表示され、その下の横軸には、放送チャンネル名が表示されている。また、画面左方には、放送時間帯が表示されている。さらに、それぞれのチャンネル

と放送時間帯に対応する番組名が表示されている。

ユーザは、リモートコントローラ 2 3 の所定のキーを操作することにより、カーソル 4 1 を操作することができる。そして、録画予約をしたい番組名の上にカーソル 4 1 を移動させ、所定の操作を行うことにより、その番組の録画予約を行うことができる。

図 4 に示す例では、10 チャンネル (CH) で 10 時 30 分乃至 11 時まで放送される”お土産いっぱい”という番組が録画予約され、他の番組と区別がつくように、網掛けされて表示されている。勿論、他の番組と区別をつけるためには、色を付けて表示する、マークを付けて表示するなどの方法を用いてもよい。

図 4 に示した表示例は、一例であり、1 日分の番組表 (EPG) を表示させるようにしてもよい。また、図 4 に示したように、1 日分の番組表の一部を表示させるようにした場合、カーソル 4 1 の動きに応じて、表示される番組表もスライドするようにしておく。このようにスライドするようにしておくことにより、1 日分の番組表を表示させることが可能となる。

このように、ポケットベル受信機 3 4 を用いることにより、EPG データの配信元は、複数の電話回線を所有する必要がなく、且つパーソナルコンピュータなどの簡便な装置で EPG データを作成し、送信することが可能となる。また、ポケットベル受信機 3 4 に送信できるデータは、現在 100 バイトが上限とされているが、上述したように、複数回配信処理を行うことにより、大きなデータを配信することも可能である。

データ配信元 1 が EPG データの配信を行うのは、例えば、毎日所定の時間に配信する、ユーザからの要求があったときに配信する

など、さまざまな配信形態をとることが可能である。

上述した説明では、ポケットベル受信機 3 4 が受信機 5 に内蔵された構造として説明したが、ポケットベル受信機 3 4 と受信機 5 が外部で接続されるような構成としてもよい。また、ポケットベル受信機 3 4 ではなく、同様な機能を有する装置で置き換えることも可能である。

また、配信されるデータとして、E P G データ以外のデータでも、本発明に用いることができる。また、受信機 5 は、ビデオテープレコーダとして説明したがテレビジョン受像機や、S T B (Set Top Box) などの装置に適用してもよい。

上述した E P G データ等の処理を実行するコンピュータプログラムをユーザに提供する提供媒体には、磁気ディスク、C D - R O M などの情報記録媒体の他、インターネット、デジタル衛星などのネットワークによる伝送媒体も含まれる。

産業上の利用可能性

本発明は、固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信し、受信されたデータにより作成される画像の表示を制御するようにしているので、簡便な構造の情報処理装置においても、E P G データを処理することができる。

請求の範囲

1. 固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信する受信手段と、

前記受信手段により受信されたデータを記憶する記憶手段と、

前記記憶手段により記憶されたデータにより作成される画像の表示を制御する表示制御手段とを備えてなる情報処理装置。

2. 前記受信手段は、ポケットベル受信機であることを特徴とする請求の範囲第1項記載の情報処理装置。

3. 前記データは、電子番組ガイド（EPG）であることを特徴とする請求の範囲第1項記載の情報処理装置。

4. 固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信されたデータを記憶する記憶ステップと、

前記記憶ステップで記憶されたデータにより作成される画像の表示を表示制御手段により制御するステップとを含む情報処理方法。

5. 固有の呼び出し番号が、他の情報処理装置によりダイヤルされ、呼び出されたとき、データを受信する受信ステップと、

前記受信ステップで受信されたデータを記憶する記憶ステップと、

前記記憶ステップで記憶されたデータにより作成される画像の表示を表示制御手段により制御するステップを含む処理を実行させるコンピュータにより処理可能なプログラムを提供することを特徴とする情報提供媒体。

6. 固有の呼び出し番号をもつ他の情報処理装置を、前記呼び出し

番号をダイヤルすることにより呼び出す呼び出し手段と、

前記呼び出し手段により呼び出した前記他の情報処理装置に、データを送信する送信手段とを備える情報処理装置。

7. 前記データは、電子番組ガイド（EPG）であり、1番組毎に作成されることを特徴とする請求の範囲第6項記載の情報処理装置。

8. 固有の呼び出し番号をもつ他の情報処理装置を、前記呼び出し番号をダイヤルすることにより呼び出す呼び出しステップと、

前記呼び出しステップで呼び出した前記他の情報処理装置に、データを送信する送信ステップとを含むことを特徴とする情報処理方法。

9. 固有の呼び出し番号をもつ他の情報処理装置を、前記呼び出し番号をダイヤルすることにより呼び出す呼び出しステップと、

前記呼び出しステップで呼び出した前記他の情報処理装置に、データを送信する送信ステップとを含む処理を実行させるコンピュータにより処理可能なプログラムを提供することを特徴とする情報提供媒体。

1/2

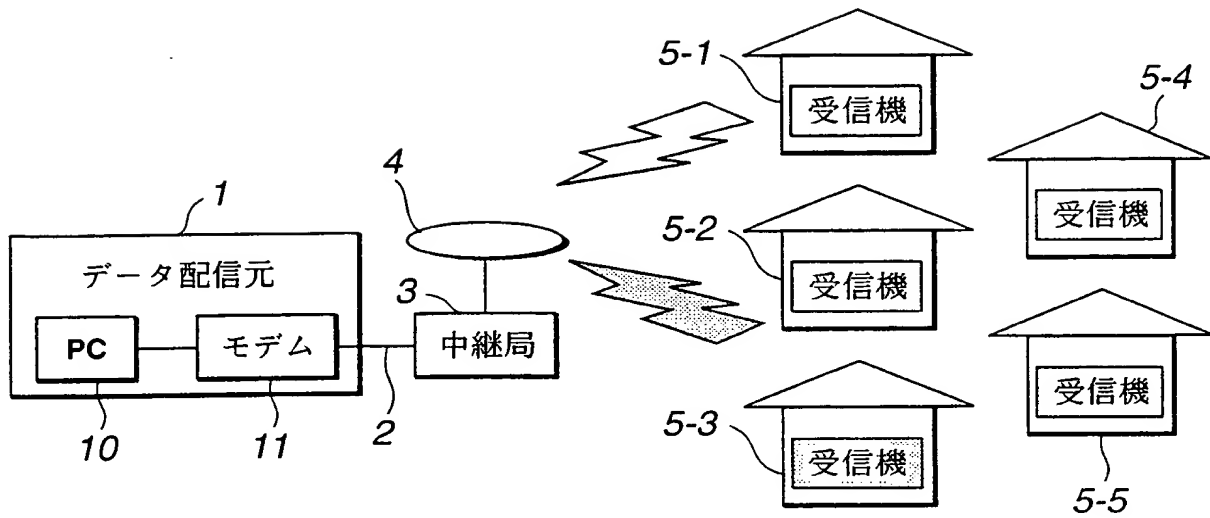


FIG.1

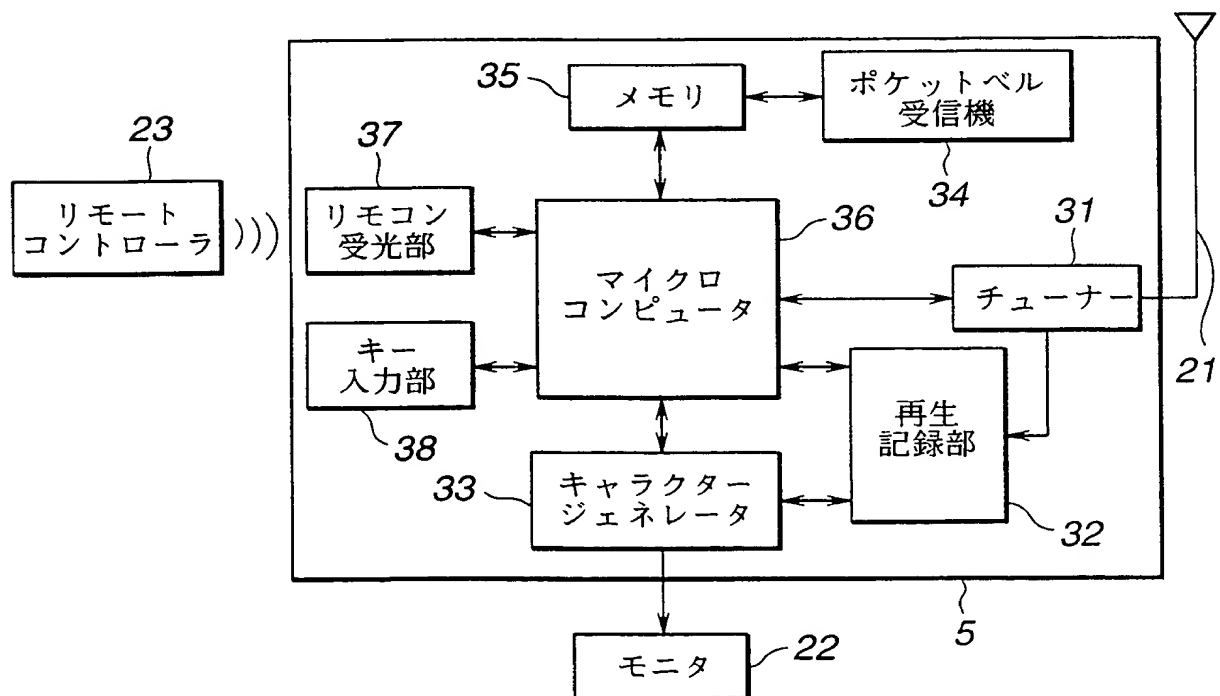


FIG.2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

2/2

1998 (年)	番組開始年 (2byte)
5 (月)	番組開始月 (1byte)
30 (日)	番組開始日 (1byte)
10:30	番組開始時刻 (2byte)
13:30	番組終了時刻 (2byte)
！おひるです！ みんなで元気 でるでるテレビ	番組名 (20文字で40byte)
2 (CH)	番組CH (1byte)
12 (コード)	番組ジャンル (1byte)
PG-12	レイティング (1byte)

1番組分 (51byte)

FIG.3

1998年5月30日					選択された 番組
	2CH	6CH	10CH		
10:00	ガイドは いやよ	Gの最後	くらし 生き生き		
10:30	！おひるです！ みんなで元気 でるでるテレビ	子供銀河 劇場	お土産 いっぱい		
11:00		はりきり 行政	さらばG		

22

41

FIG.4

THIS PAGE BLANK (USPTO)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP99/04220

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

Int. Cl.⁶ H04N5/44, H04N5/445, H04B7/26, H04H1/00

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Int. Cl.⁶ H04N5/38-5/46, H04B7/24-7/26, H04H1/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-1999

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-1999 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-1999

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP, 07-079196, A (Daihatsu Motor Co., Ltd.), 20 March, 1995 (20.03.95) (Family: none) Claim 1, Par. Nos. [0011], [0019]; Figs. 3 and 4 Claim 1, Par. Nos. [0011], [0019], Figs. 3 and 4	1-5 7
X Y	US, 4706272, A (NEC Corporation, Japan) 10 November, 1987 (10.11.87) &JP, 60-169245, A &CA, 1227835, A &GB, 2154347, B Column 5, lines 24 to 39 Column 5, lines 24 to 39	6, 8, 9 7
X	EP, 833512, A2 (SHARP KABUSHIKI KAISHA Osaka), 01 April, 1998 (01.04.98) &JP, 10-210380, A Column 7, lines 5 to 18	1-5
X	Tadao Saito, Keiji Tachikawa, "Mobile Communication Handbook", 15 November, 1995, Ohmsha (Tokyo), chap., 3 Wireless Paging, p. 263-271 Especially, page 263, lines 8 to 14	6, 8, 9

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
 "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
 "E" earlier document but published on or after the international filing date
 "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
 "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
 "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
 "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
 "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
 "&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
02 November, 1999 (02.11.99)

Date of mailing of the international search report
24 November, 1999 (24.11.99)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

THIS PAGE BLANK (USPTO)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/J P 99/04220

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁶ H04N5/44, H04N5/445, H04B7/26, H04H1/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl⁶ H04N5/38-5/46, H04B7/24-7/26, H04H1/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報 1922-1996年
 日本国公開実用新案公報 1971-1999年
 日本国登録実用新案公報 1994-1999年
 日本国実用新案登録公報 1996-1999年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X Y	JP, 07-079196, A (ダイハツ工業株式会社) 20. 3月. 1995 (20. 03. 95) (ファミリーなし) 請求項1, 段落番号【0011】、【0019】、第3, 4図 請求項1, 段落番号【0011】、【0019】、第3, 4図	1-5 7
X Y	US, 4706272, A (NEC Corporation, Japan) 10. 11月. 1987 (10. 11. 87) & JP, 60-169245, A & CA, 1227835, A & GB, 2154347, B 第5欄、第24~39行目 第5欄、第24~39行目	6, 8, 9 7

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
 「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

02. 11. 99

国際調査報告の発送日

24.11.99

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/J P)
 郵便番号100-8915
 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

夏目 健一郎



5 P

4227

電話番号 03-3581-1101 内線 3581

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	EP, 833512, A2 (SHARP KABUSHIKI KAISHA Osaka) 1. 4月. 1998 (01. 04. 98) & JP, 10-210380, A 第7欄第5～18行目	1 - 5
X	齋藤忠夫, 立川敬二, 移動通信ハンドブック, 1995年11月1 5日, オーム社 (東京), 第3章 無線呼出し, p. 263-271 特に, 第263ページ第8～14行目	6, 8, 9